

TIST

Tsukuba Institute of Science & Technology

令和6年度 2学年 前期シラバス

建築環境学科
建築設計デザインコース

筑波研究学園専門学校

学科別教科目（2学年 前期）

◆建築設計デザインコース

	教科名	授業科目名
1	建築設計製図	設計製図演習Ⅲ
2	建築計画	建築計画Ⅱ
3	建築環境工学	環境工学Ⅰ
4	建築設備	建築設備Ⅰ
5	建築一般構造	建築一般構造Ⅲ
6	建築材料	建築材料実験
7	建築生産	建築積算Ⅰ
8	その他	実務設計専攻Ⅰ
9	その他	インテリア設計専攻Ⅰ
10	建築士指定科目 指定外	都市計画Ⅰ
11	建築士指定科目 指定外	3D-CAD演習Ⅰ
12	建築士指定科目 指定外	卒業研究Ⅰ

【授業科目名】	設計製図演習Ⅲ(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	建築設計製図	【単位数】	3単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	2年次	【授業時間数】	90H(6H/週)																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計・施工監理] 赤城 真美江 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計] 古谷 友宏 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計] 松枝 俊之 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	集合住宅・公共建築物の設計手法を、既存施設を基に調査・研究して基本を学習した後、各自オリジナルの施設を自主設計し、各図面と模型を作成して一連の設計技術を習得する。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>集合住宅・公共建築の設計について(既存施設の調査・研究)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(平面図・配置図)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(配置図・設計主旨・面積表)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(平面図)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(断面図)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(立面図)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題</td> </tr> </tbody> </table> <p>※期末試験(ペーパーテスト)は無し。</p>			回数	授業内容	1	集合住宅・公共建築の設計について(既存施設の調査・研究)	2	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)	3	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)	4	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(平面図・配置図)	5	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)	6	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)	7	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)	8	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)	9	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(配置図・設計主旨・面積表)	10	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(平面図)	11	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(断面図)	12	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(立面図)	13	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題	14	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題	15	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題
回数	授業内容																																		
1	集合住宅・公共建築の設計について(既存施設の調査・研究)																																		
2	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)																																		
3	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(主旨・ゾーニング)																																		
4	RC造集合住宅・公共建築物 自主設計 エスキス(平面図・配置図)																																		
5	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)																																		
6	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(平面図・配置図)																																		
7	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)																																		
8	RC造集合住宅・公共建築物 エスキス(断面図・立面図)																																		
9	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(配置図・設計主旨・面積表)																																		
10	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(平面図)																																		
11	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(断面図)																																		
12	RC造集合住宅・公共建築物 製図課題(立面図)																																		
13	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題																																		
14	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題																																		
15	RC造集合住宅・公共建築物 模型製作課題																																		
【資格との関連】	・一級・二級建築士の設計製図試験																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教科書】	新しい建築の製図(学芸出版社) 新建築設計ノート 集合住宅(彰国社)																																		
【参考資料】	必携建築資料(実教出版) 初めての建築計画(住宅・集合住宅・事務所・幼稚園・図書館)(学芸出版社)																																		
【留意事項】	課題は期限内に提出されないと採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。																																		

【授業科目名】	建築計画Ⅱ（授業形態：講義）																																				
【教科目名】	建築計画	【単位数】	2単位																																		
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																		
【学習時期】	前期																																				
【年次】	2年次	【授業時間数】	30H（2H/週）																																		
【授業担当者】	古谷 友宏 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																				
【学習目標】	建築全般計画の基礎理論（人の行動と空間の関係、その技術的認識と思考方法）と設計計画の基本（与条件の整理、ゾーニング、人の動線の考え方など）を習得する。応用として、自ら考えることにより、設計計画のプロセスを学ぶ。																																				
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ユニバーサルデザイン・バリアフリーを考える</td></tr> <tr><td>2</td><td>高齢者・障害者に配慮した建築計画（部位別の留意事項）</td></tr> <tr><td>3</td><td>地球環境に配慮した建築計画1（持続可能性・資源循環・環境共生）</td></tr> <tr><td>4</td><td>地球環境に配慮した建築計画2（コンバージョン・リノベーション）</td></tr> <tr><td>5</td><td>事務所の計画（レントابل比・コアタイプ・オフィスレイアウト）</td></tr> <tr><td>6</td><td>事務所の計画（会社の自社ビルを考える1）</td></tr> <tr><td>7</td><td>事務所の計画（会社の自社ビルを考える2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>中間復習 中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>ホテルの計画（配置計画、宿泊施設の種類、客室、宴会場）</td></tr> <tr><td>10</td><td>複合施設の計画（ビジネスホテルとの複合施設を考える）</td></tr> <tr><td>11</td><td>病院・診療所の計画（配置計画、病院の定義、部門の要点、用語）</td></tr> <tr><td>12</td><td>商業建築の計画（飲食店、物品販売店、各室・寸法）</td></tr> <tr><td>13</td><td>高齢者福祉施設の計画（福祉施設の種類、計画上の留意事項）</td></tr> <tr><td>14</td><td>各種施設の計画（駐車施設、スポーツ施設）</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習</td></tr> <tr><td>16</td><td>期末試験</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	ユニバーサルデザイン・バリアフリーを考える	2	高齢者・障害者に配慮した建築計画（部位別の留意事項）	3	地球環境に配慮した建築計画1（持続可能性・資源循環・環境共生）	4	地球環境に配慮した建築計画2（コンバージョン・リノベーション）	5	事務所の計画（レントابل比・コアタイプ・オフィスレイアウト）	6	事務所の計画（会社の自社ビルを考える1）	7	事務所の計画（会社の自社ビルを考える2）	8	中間復習 中間試験	9	ホテルの計画（配置計画、宿泊施設の種類、客室、宴会場）	10	複合施設の計画（ビジネスホテルとの複合施設を考える）	11	病院・診療所の計画（配置計画、病院の定義、部門の要点、用語）	12	商業建築の計画（飲食店、物品販売店、各室・寸法）	13	高齢者福祉施設の計画（福祉施設の種類、計画上の留意事項）	14	各種施設の計画（駐車施設、スポーツ施設）	15	総復習	16	期末試験
回数	授業内容																																				
1	ユニバーサルデザイン・バリアフリーを考える																																				
2	高齢者・障害者に配慮した建築計画（部位別の留意事項）																																				
3	地球環境に配慮した建築計画1（持続可能性・資源循環・環境共生）																																				
4	地球環境に配慮した建築計画2（コンバージョン・リノベーション）																																				
5	事務所の計画（レントابل比・コアタイプ・オフィスレイアウト）																																				
6	事務所の計画（会社の自社ビルを考える1）																																				
7	事務所の計画（会社の自社ビルを考える2）																																				
8	中間復習 中間試験																																				
9	ホテルの計画（配置計画、宿泊施設の種類、客室、宴会場）																																				
10	複合施設の計画（ビジネスホテルとの複合施設を考える）																																				
11	病院・診療所の計画（配置計画、病院の定義、部門の要点、用語）																																				
12	商業建築の計画（飲食店、物品販売店、各室・寸法）																																				
13	高齢者福祉施設の計画（福祉施設の種類、計画上の留意事項）																																				
14	各種施設の計画（駐車施設、スポーツ施設）																																				
15	総復習																																				
16	期末試験																																				
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士学科試験 ・一級・二級建築施工管理技士試験 																																				
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																				
【教科書】	図説 やさしい建築計画（学芸出版社）																																				
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設計テキスト 事務所建築、商業施設（彰国社） ・初めての建築計画（学芸出版社） ・初学者の建築講座 建築計画（市ヶ谷出版社） 																																				
【留意事項】	関連する教科としては、設計製図演習Ⅲ（2年前期）、卒業設計（2年後期）などがあります。これらに活かすためには、「建築計画で教える定石」の理解を深める事と、「建築計画が教えないこと」へ転化することも重要です。																																				

【授業科目名】	環境工学 I (授業形態:講義)																																																					
【教科目名】	建築環境工学	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	2 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	佐藤 美律子 [実務経験:設計事務所にてランドスケープの設計]																																																					
【学習目標】	生活を取りまく自然環境や都市環境に関する基本的な要素(用語・単位・気候・空気・伝熱・通風・結露・日照・日射など)の性質と特徴の把握、快適建築環境の創出方法、省エネルギー手法を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>光環境 1 (視覚・明視・可視光線)</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>光環境 2 (照度と輝度、昼光)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>光環境 3 (色温度、光源)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>光環境 4 (照明計画、グレア、均斉度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>光環境 5 (色彩、色の三属性、表色、色の効果)</td> <td>小テスト1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>温熱環境 1 (温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>温熱環境 2 (室温と熱負荷)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>温熱環境 3 (断熱性能、熱容量)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>温熱環境 4 (湿度と結露、空気線図)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>温熱環境 5 (体感温度、環境と人体の熱平衡)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>温熱環境 6 (温熱環境指標)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>温熱環境 7 (太陽と日射、太陽位置)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>温熱環境 8 (日照、日影、日射取得と遮へい)</td> <td>小テスト2</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	光環境 1 (視覚・明視・可視光線)	オリエンテーション	2	光環境 2 (照度と輝度、昼光)		3	光環境 3 (色温度、光源)		4	光環境 4 (照明計画、グレア、均斉度)		5	光環境 5 (色彩、色の三属性、表色、色の効果)	小テスト1	6	中間復習	中間試験	7	温熱環境 1 (温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗)		8	温熱環境 2 (室温と熱負荷)		9	温熱環境 3 (断熱性能、熱容量)		10	温熱環境 4 (湿度と結露、空気線図)		11	温熱環境 5 (体感温度、環境と人体の熱平衡)		12	温熱環境 6 (温熱環境指標)		13	温熱環境 7 (太陽と日射、太陽位置)		14	温熱環境 8 (日照、日影、日射取得と遮へい)	小テスト2	15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	光環境 1 (視覚・明視・可視光線)	オリエンテーション																																																				
2	光環境 2 (照度と輝度、昼光)																																																					
3	光環境 3 (色温度、光源)																																																					
4	光環境 4 (照明計画、グレア、均斉度)																																																					
5	光環境 5 (色彩、色の三属性、表色、色の効果)	小テスト1																																																				
6	中間復習	中間試験																																																				
7	温熱環境 1 (温度と熱移動、伝達、伝導、熱貫流量、抵抗)																																																					
8	温熱環境 2 (室温と熱負荷)																																																					
9	温熱環境 3 (断熱性能、熱容量)																																																					
10	温熱環境 4 (湿度と結露、空気線図)																																																					
11	温熱環境 5 (体感温度、環境と人体の熱平衡)																																																					
12	温熱環境 6 (温熱環境指標)																																																					
13	温熱環境 7 (太陽と日射、太陽位置)																																																					
14	温熱環境 8 (日照、日影、日射取得と遮へい)	小テスト2																																																				
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士学科試験 ・ 1 級・2 級建築施工管理技士試験 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	図説 やさしい建築環境 (学芸出版社)																																																					
【参考資料】	書籍: 建築計画 設計計画の基礎と応用 (彰国者) 福祉・住環境用語集 (学芸出版社) インテリアの計画と設計 (彰国社)																																																					
【留意事項】	関連する教科としては、建築計画、設計製図演習・建築法規、建築設備、卒業研究(2年後期)など																																																					

【授業科目名】	建築設備 I (授業形態: 講義)																																																					
【教科目名】	建築設備	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	2 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験: 建築設計事務所にて建築物の設計]																																																					
【学習目標】	建築設備の種類 (空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備) と概要、空気調和設備の基礎理論 (空気負荷、空気調和設備機器材料、換気設備、排煙設備など)、給排水衛生設備の基礎理論 (給水、給湯の方式、器具など) を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>建築設備とは、建築設備の種類と技術</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>空気調和設備機器と材料 (暖房設備)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>空気調和設備機器と材料 (熱源設備)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>空気調和設備機器と材料 (ポンプと配管)</td> <td>小テスト 1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>空気調和設備機器と材料 (ダクト、ターミナル、換気設備)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>排煙設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>給排水衛生設備の概要、給水設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>給水設備 (上水道施設、給水方式、水の使用量)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>給水設備 (給水量の算定、予想給水量)</td> <td>小テスト 2</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>給水設備 (タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築設備とは、建築設備の種類と技術	オリエンテーション	2	空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷		3	負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス		4	空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画		5	空気調和設備機器と材料 (暖房設備)		6	空気調和設備機器と材料 (熱源設備)		7	空気調和設備機器と材料 (ポンプと配管)	小テスト 1	8	中間復習	中間試験	9	空気調和設備機器と材料 (ダクト、ターミナル、換気設備)		10	排煙設備		11	給排水衛生設備の概要、給水設備		12	給水設備 (上水道施設、給水方式、水の使用量)		13	給水設備 (給水量の算定、予想給水量)	小テスト 2	14	給水設備 (タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管)		15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築設備とは、建築設備の種類と技術	オリエンテーション																																																				
2	空気調和設備の概要、空調負荷、冷房負荷、暖房負荷																																																					
3	負荷の計算、湿り空気線図、冷暖房の基本プロセス																																																					
4	空気調和設備の計画と方式、空気調和設備の構成・計画																																																					
5	空気調和設備機器と材料 (暖房設備)																																																					
6	空気調和設備機器と材料 (熱源設備)																																																					
7	空気調和設備機器と材料 (ポンプと配管)	小テスト 1																																																				
8	中間復習	中間試験																																																				
9	空気調和設備機器と材料 (ダクト、ターミナル、換気設備)																																																					
10	排煙設備																																																					
11	給排水衛生設備の概要、給水設備																																																					
12	給水設備 (上水道施設、給水方式、水の使用量)																																																					
13	給水設備 (給水量の算定、予想給水量)	小テスト 2																																																				
14	給水設備 (タンクの容量と設置高さ、ポンプ能力、給水管)																																																					
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士学科試験 ・ 1 級・2 級建築施工管理技士試験 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	・ 基礎講座 建築設備 (学芸出版社)																																																					
【参考資料】	・ 初めての建築設備 (学芸出版社)																																																					
【留意事項】	建築設計・施工管理など実務において必要不可欠な教科です。建築設備の基本的な名称や機能、役割を理解しましょう。また資格取得には重要な教科です。																																																					

【授業科目名】	構造力学Ⅲ(授業形態:講義)																																																					
【教科目名】	構造力学	【単位数】	2単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	2年次	【授業時間数】	30H(2H/週)																																																			
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計]																																																					
【学習目標】	建築物を構成している骨組(柱・梁・壁・床)の部材断面の性質および変形、応力度の理解とトラス応力、不静定構造物の解析理論さらに部材の安全性確認の方法を習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>断面の性質</td> <td>断面一次モーメントと図心</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>断面の性質</td> <td>断面二次モーメント</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>断面の性質</td> <td>断面係数</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>断面の性質</td> <td>断面二次半径 断面の主軸</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>部材に生じる応力度</td> <td>曲げモーメントを生じる部材①</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>部材に生じる応力度</td> <td>曲げモーメントを生じる部材②</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>部材に生じる応力度</td> <td>引張力・圧縮力を生じる部材</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>梁の変形</td> <td>たわみとたわみ角</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>梁の変形</td> <td>モールの定理</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>梁の変形</td> <td>支点のたわみとたわみ角、反曲点</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>不静定構造物の部材に生じる力</td> <td>不静定梁</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>不静定ラーメン</td> <td>たわみ角法、固定モーメント</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>不静定ラーメン</td> <td>長方形ラーメンの曲げモーメントとせん断力</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">総復習</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td colspan="2">期末試験</td> </tr> </tbody> </table>			回	授業内容		1	断面の性質	断面一次モーメントと図心	2	断面の性質	断面二次モーメント	3	断面の性質	断面係数	4	断面の性質	断面二次半径 断面の主軸	5	部材に生じる応力度	曲げモーメントを生じる部材①	6	部材に生じる応力度	曲げモーメントを生じる部材②	7	部材に生じる応力度	引張力・圧縮力を生じる部材	8	中間復習	中間試験	9	梁の変形	たわみとたわみ角	10	梁の変形	モールの定理	11	梁の変形	支点のたわみとたわみ角、反曲点	12	不静定構造物の部材に生じる力	不静定梁	13	不静定ラーメン	たわみ角法、固定モーメント	14	不静定ラーメン	長方形ラーメンの曲げモーメントとせん断力	15	総復習		16	期末試験	
回	授業内容																																																					
1	断面の性質	断面一次モーメントと図心																																																				
2	断面の性質	断面二次モーメント																																																				
3	断面の性質	断面係数																																																				
4	断面の性質	断面二次半径 断面の主軸																																																				
5	部材に生じる応力度	曲げモーメントを生じる部材①																																																				
6	部材に生じる応力度	曲げモーメントを生じる部材②																																																				
7	部材に生じる応力度	引張力・圧縮力を生じる部材																																																				
8	中間復習	中間試験																																																				
9	梁の変形	たわみとたわみ角																																																				
10	梁の変形	モールの定理																																																				
11	梁の変形	支点のたわみとたわみ角、反曲点																																																				
12	不静定構造物の部材に生じる力	不静定梁																																																				
13	不静定ラーメン	たわみ角法、固定モーメント																																																				
14	不静定ラーメン	長方形ラーメンの曲げモーメントとせん断力																																																				
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士学科試験 ・一級・二級建築施工管理技士試験 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	・やさしい建築構造力学演習問題集 (学芸出版社)																																																					
【参考資料】	・改訂版 図説 やさしい構造力学 (学芸出版社)																																																					
【留意事項】	建築物の安全性を確認するためには、応力と断面の性質を知る必要があります。力がどのように伝わり、なぜ、「安全」か、確認する手法を学びます。																																																					

【授業科目名】	建築材料実験(授業形態:実験)																																		
【教科目名】	建築材料	【単位数】	1単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	2年次	【授業時間数】	45H(3H/週)																																
【授業担当者】	関口 政志 [実務経験:建設会社にて土木工作物の施工]																																		
【学習目標】	建築構造材料として使用されるコンクリート(配合計算、配合設計、テストピースの試作、圧縮試験)、鉄筋(引張り試験)、木材(圧縮試験)の力学的特性を構造実験により習得する。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>コンクリートの調合設計(講義、計算)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>①コンクリート圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>②コンクリート圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>③コンクリート圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>④コンクリート圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>①鉄筋引張り試験</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>②鉄筋引張り試験</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>③鉄筋引張り試験</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>①木材圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>②木材圧縮試験</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>③木材圧縮試験</td> </tr> </tbody> </table> <p>※グループごとに実施 ※期末試験(ペーパーテスト)は無し</p>			回数	授業内容	1	コンクリートの調合設計(講義、計算)	2	①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	3	②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	4	③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	5	④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型	6	①コンクリート圧縮試験	7	②コンクリート圧縮試験	8	③コンクリート圧縮試験	9	④コンクリート圧縮試験	10	①鉄筋引張り試験	11	②鉄筋引張り試験	12	③鉄筋引張り試験	13	①木材圧縮試験	14	②木材圧縮試験	15	③木材圧縮試験
回数	授業内容																																		
1	コンクリートの調合設計(講義、計算)																																		
2	①コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
3	②コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
4	③コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
5	④コンクリート試験練り→キャッピング→脱型																																		
6	①コンクリート圧縮試験																																		
7	②コンクリート圧縮試験																																		
8	③コンクリート圧縮試験																																		
9	④コンクリート圧縮試験																																		
10	①鉄筋引張り試験																																		
11	②鉄筋引張り試験																																		
12	③鉄筋引張り試験																																		
13	①木材圧縮試験																																		
14	②木材圧縮試験																																		
15	③木材圧縮試験																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士学科試験 ・一級・二級建築施工管理技士試験 																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、レポートを総合して評価します。課題及びレポート未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教科書】	必要に応じてプリントを配布																																		
【参考資料】	初めての建築材料(学芸出版社) 必携建築資料ビジュアルハンドブック(実教出版)																																		
【留意事項】	実験は率先して取り組む必要があります。講義の材料学で学んだ知識を実験で確認する事が大切です。材料の特性を理解して学習しましょう。専門用語が多く材料学を復習して講義・演習に臨む必要があります。疑問点については、質問して理解するようにして下さい。																																		

【授業科目名】	建築積算 I (授業形態:講義)																																																					
【教科目名】	建築生産	【単位数】	2 単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース																																																			
【学習時期】	前 期																																																					
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	30H (2H/週)																																																			
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計・施工監理]																																																					
【学 習 目 標】	建築積算の概要(工事費、工事別積算、部位別積算、数量積算、積算単価、諸経費など)と各種工事(土工・地業、コンクリート、型枠、鉄筋)の積算方法を習得する。																																																					
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>建築積算とは、建築生産プロセス</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>入札とは、積算業務の概要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>設計図書とは、工事費の構成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>建築コストにおける数量と単価、内訳書とは</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>内訳書とは、内訳書の作成、</td> <td>小テスト 1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>建築数量積算基準、数量の計測計算(躯体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>数量の計測・計算(土工)、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>数量の計測・計算(独立基礎)、</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>数量の計測・計算(布基礎)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>数量の計測・計算(基礎柱)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>数量の計測・計算(基礎梁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>数量の計測・計算(柱)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>数量の計測・計算(大梁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>数量の計測・計算(小梁)</td> <td>小テスト 2</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	建築積算とは、建築生産プロセス	オリエンテーション	2	入札とは、積算業務の概要		3	設計図書とは、工事費の構成		4	建築コストにおける数量と単価、内訳書とは		5	内訳書とは、内訳書の作成、	小テスト 1	6	建築数量積算基準、数量の計測計算(躯体)		7	数量の計測・計算(土工)、		8	数量の計測・計算(独立基礎)、	中間試験	9	数量の計測・計算(布基礎)		10	数量の計測・計算(基礎柱)		11	数量の計測・計算(基礎梁)		12	数量の計測・計算(柱)		13	数量の計測・計算(大梁)		14	数量の計測・計算(小梁)	小テスト 2	15	総復習		16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	建築積算とは、建築生産プロセス	オリエンテーション																																																				
2	入札とは、積算業務の概要																																																					
3	設計図書とは、工事費の構成																																																					
4	建築コストにおける数量と単価、内訳書とは																																																					
5	内訳書とは、内訳書の作成、	小テスト 1																																																				
6	建築数量積算基準、数量の計測計算(躯体)																																																					
7	数量の計測・計算(土工)、																																																					
8	数量の計測・計算(独立基礎)、	中間試験																																																				
9	数量の計測・計算(布基礎)																																																					
10	数量の計測・計算(基礎柱)																																																					
11	数量の計測・計算(基礎梁)																																																					
12	数量の計測・計算(柱)																																																					
13	数量の計測・計算(大梁)																																																					
14	数量の計測・計算(小梁)	小テスト 2																																																				
15	総復習																																																					
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築積算士補試験 ・ 一級・二級建築士学科試験 ・ 1級・2級建築施工管理技士試験 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																					
【教科書】	建築積算(公益社団法人 日本建築積算協会)																																																					
【参考資料】	建築数量積算基準・同解説(大成出版社) 初めての建築積算(学芸出版社)																																																					
【留意事項】	建築法規・構造力学・建築一般構造・建築施工・建築材料などの教科と関連付けながら、積算を理解し、実際に積算書を記入することにより理解しましょう。																																																					

【授業科目名】	実務設計専攻Ⅰ（選択必修）（授業形態：演習）																																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	2単位																																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース （実務設計専攻）																																																
【学習時期】	前期																																																		
【年次】	2年次	【授業時間数】	60H（4H／週）																																																
【授業担当者】	松枝 俊之 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																																		
【学習目標】	設計実務（企画設計・基本設計・実施設計）の流れの中で特に住宅設計実務に特化した基本的な設計技術（施主と条件・敷地条件・法規制等の各種条件のもとでの設計）を設計・作図して習得する。																																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>演習方法の説明 演習課題の実施</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">建築士製図試験の説明・対応方法の解説</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="2">建築士取得後の業務内容 確認申請書の作成</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">設計課題演習1 車庫付き専用住宅 エスキス演習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">設計課題演習1 車庫付き専用住宅 配置図 1,2階平面図</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">講義1 敷地調査 公図 登記簿</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 エスキス</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td colspan="2">設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 平面図</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="2">講義2 筋かい計算・バランス計算演習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td colspan="2">設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅 エスキス</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="2">設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="2">講義3 民法に規定する建物関連法規 相続について</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="2">設計課題演習4 レストラン併用住宅 エスキス</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td colspan="2">設計課題演習4 レストラン併用住宅 配置図 1,2階平面図</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">講義4 設計課題演習1, 2, 3の講評、総復習</td> </tr> </tbody> </table> <p>※期末試験（ペーパーテスト）は無し</p>			回数	授業内容		1	演習方法の説明 演習課題の実施	オリエンテーション	2	建築士製図試験の説明・対応方法の解説		3	建築士取得後の業務内容 確認申請書の作成		4	設計課題演習1 車庫付き専用住宅 エスキス演習		5	設計課題演習1 車庫付き専用住宅 配置図 1,2階平面図		6	講義1 敷地調査 公図 登記簿		7	設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 エスキス		8	設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 平面図		9	講義2 筋かい計算・バランス計算演習		10	設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅 エスキス		11	設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅		12	講義3 民法に規定する建物関連法規 相続について		13	設計課題演習4 レストラン併用住宅 エスキス		14	設計課題演習4 レストラン併用住宅 配置図 1,2階平面図		15	講義4 設計課題演習1, 2, 3の講評、総復習	
回数	授業内容																																																		
1	演習方法の説明 演習課題の実施	オリエンテーション																																																	
2	建築士製図試験の説明・対応方法の解説																																																		
3	建築士取得後の業務内容 確認申請書の作成																																																		
4	設計課題演習1 車庫付き専用住宅 エスキス演習																																																		
5	設計課題演習1 車庫付き専用住宅 配置図 1,2階平面図																																																		
6	講義1 敷地調査 公図 登記簿																																																		
7	設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 エスキス																																																		
8	設計課題演習2 平面形状が台形の敷地の専用住宅 平面図																																																		
9	講義2 筋かい計算・バランス計算演習																																																		
10	設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅 エスキス																																																		
11	設計課題演習3 住宅地に建つ喫茶店併用住宅																																																		
12	講義3 民法に規定する建物関連法規 相続について																																																		
13	設計課題演習4 レストラン併用住宅 エスキス																																																		
14	設計課題演習4 レストラン併用住宅 配置図 1,2階平面図																																																		
15	講義4 設計課題演習1, 2, 3の講評、総復習																																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・一級・二級建築士学科試験 ・一級・二級建築施工管理技士試験 																																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																																		
【教科書】	なし（必要に応じてプリントなどを配布）																																																		
【参考資料】	改訂版 初めての建築製図（学芸出版社） 必携建築資料（実教出版）																																																		
【留意事項】	②関連する教科としては、設計製図演習Ⅰ・建築計画Ⅰ（1年前期）、設計製図演習Ⅱ・建築計画Ⅱ（1年後期）、設計製図演習Ⅲ及びⅣ・建築法規Ⅲ・建築計画Ⅲ（2年前期）、建築計画Ⅳ・卒業設計製図・卒業研究（2年後期）など																																																		

【授業科目名】	インテリア設計専攻 I (選択必修) (授業形態: 演習)																																		
【教科目名】	その他	【単位数】	2 単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・ 建築設計デザインコース (インテリア設計専攻)																																
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	2 年次	【授業時間数】	6 0 H (4 H/週)																																
【授業担当者】	赤城 真美江 [実務経験: 建築設計事務所にて建築物の設計デザイン]																																		
【学 習 目 標】	インテリアの基礎概論・定義とインテリアを構成する要素 (インテリアエレメント) について学びます。各エレメントについての講義やプレゼン作成を通じて、商品知識 (種類・素材・寸法・価格・メーカー等) を身につけ、様々な商品を理解した上で、ユーザーに適したコーディネーションをする事を目的とします。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>インテリア基礎概論① インテリアについて</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>インテリア基礎概論② 歴史</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>インテリア基礎概論③ 計画</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>インテリア基礎概論④ 色彩</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>インテリア基礎概論⑤ 造形</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>インテリア基礎概論⑥ 家具</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>インテリア基礎概論⑦ インテリアエレメント</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>インテリア基礎概論⑧ エクステリアエレメント</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>照明計画① 照明器具、照明配線計画の解説</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>照明計画② 照明プランニング (機能性と演出性の研究)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>照明計画③ 照明計画のプランニング演習 (照明配置計画)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>演習課題① 住宅のインテリアプレゼンボード作成 (照明、内装床材、壁紙、天井材、家具、カーテン等)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>演習課題② 住宅のインテリアプレゼンボード作成</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>演習課題③ 住宅のインテリアプレゼンボード作成</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>演習課題④ 住宅のインテリアプレゼンボード作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※期末試験 (ペーパーテスト) は無し</p>			回数	授業内容	1	インテリア基礎概論① インテリアについて	2	インテリア基礎概論② 歴史	3	インテリア基礎概論③ 計画	4	インテリア基礎概論④ 色彩	5	インテリア基礎概論⑤ 造形	6	インテリア基礎概論⑥ 家具	7	インテリア基礎概論⑦ インテリアエレメント	8	インテリア基礎概論⑧ エクステリアエレメント	9	照明計画① 照明器具、照明配線計画の解説	10	照明計画② 照明プランニング (機能性と演出性の研究)	11	照明計画③ 照明計画のプランニング演習 (照明配置計画)	12	演習課題① 住宅のインテリアプレゼンボード作成 (照明、内装床材、壁紙、天井材、家具、カーテン等)	13	演習課題② 住宅のインテリアプレゼンボード作成	14	演習課題③ 住宅のインテリアプレゼンボード作成	15	演習課題④ 住宅のインテリアプレゼンボード作成
回数	授業内容																																		
1	インテリア基礎概論① インテリアについて																																		
2	インテリア基礎概論② 歴史																																		
3	インテリア基礎概論③ 計画																																		
4	インテリア基礎概論④ 色彩																																		
5	インテリア基礎概論⑤ 造形																																		
6	インテリア基礎概論⑥ 家具																																		
7	インテリア基礎概論⑦ インテリアエレメント																																		
8	インテリア基礎概論⑧ エクステリアエレメント																																		
9	照明計画① 照明器具、照明配線計画の解説																																		
10	照明計画② 照明プランニング (機能性と演出性の研究)																																		
11	照明計画③ 照明計画のプランニング演習 (照明配置計画)																																		
12	演習課題① 住宅のインテリアプレゼンボード作成 (照明、内装床材、壁紙、天井材、家具、カーテン等)																																		
13	演習課題② 住宅のインテリアプレゼンボード作成																																		
14	演習課題③ 住宅のインテリアプレゼンボード作成																																		
15	演習課題④ 住宅のインテリアプレゼンボード作成																																		
【資格との関連】	・ インテリアコーディネーター、インテリアプランナー試験の学科試験科目																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。課題の期限外提出は減点対象となりますので期限を守るようにしてください。																																		
【教 科 書】	インテリアコーディネーター1 次試験過去問題徹底研究 2024 (上巻・下巻)																																		
【参 考 資 料】	やさしいインテリアコーディネーション (学芸出版社) 世界で一番やさしい照明・インテリア (建築知識)																																		
【留 意 事 項】	課題の未提出は採点対象外となりますので必ず提出して下さい。																																		

【授業科目名】	都市計画Ⅰ（授業形態：講義）																																																					
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	2単位																																																			
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																																			
【学習時期】	前期																																																					
【年次】	2年次	【授業時間数】	30H（2H/週）																																																			
【授業担当者】	佐藤 美律子 [実務経験：設計事務所にてランドスケープの設計]																																																					
【学習目標】	社会活動、日常生活の利便性と快適な環境の効率的な都市機能を構築のため、都市計画の基本的事項、創造的事項、新しい企画として必要な事項、環境問題に関する事項等について、具体的な実例を分析しながら理解し、都市計画のプロセスを論理的に習得する。																																																					
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>都市論① 都市の定義、都市問題</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>都市論② 日本の都市と発展途上国の都市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>都市計画論① 都市学と都市計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>都市計画論② 日本の都市計画の発祥、都市計画の事例</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>都市基本計画① 都市基本計画の位置づけ、与件、内容、方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>都市基本計画② 日本の都市基本計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>土地利用計画① 土地利用計画の目的、基礎的理論</td> <td>小テスト1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中間復習</td> <td>中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>土地利用計画② 日本の土地利用計画制度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>都市交通計画① 都市交通の問題と課題、機能、役割</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>都市交通計画② 街路網の計画、都市交通計画の手法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>都市交通計画③ 地区交通計画の必要性、方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>公園・緑地・オープンスペースの計画① 公園・緑地・オープンスペースの機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>公園・緑地・オープンスペースの計画② 都市公園・緑地、公園の設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> <td>小テスト2</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	都市論① 都市の定義、都市問題	オリエンテーション	2	都市論② 日本の都市と発展途上国の都市		3	都市計画論① 都市学と都市計画		4	都市計画論② 日本の都市計画の発祥、都市計画の事例		5	都市基本計画① 都市基本計画の位置づけ、与件、内容、方法		6	都市基本計画② 日本の都市基本計画		7	土地利用計画① 土地利用計画の目的、基礎的理論	小テスト1	8	中間復習	中間試験	9	土地利用計画② 日本の土地利用計画制度		10	都市交通計画① 都市交通の問題と課題、機能、役割		11	都市交通計画② 街路網の計画、都市交通計画の手法		12	都市交通計画③ 地区交通計画の必要性、方法		13	公園・緑地・オープンスペースの計画① 公園・緑地・オープンスペースの機能		14	公園・緑地・オープンスペースの計画② 都市公園・緑地、公園の設計		15	総復習	小テスト2	16	期末試験	
回数	授業内容																																																					
1	都市論① 都市の定義、都市問題	オリエンテーション																																																				
2	都市論② 日本の都市と発展途上国の都市																																																					
3	都市計画論① 都市学と都市計画																																																					
4	都市計画論② 日本の都市計画の発祥、都市計画の事例																																																					
5	都市基本計画① 都市基本計画の位置づけ、与件、内容、方法																																																					
6	都市基本計画② 日本の都市基本計画																																																					
7	土地利用計画① 土地利用計画の目的、基礎的理論	小テスト1																																																				
8	中間復習	中間試験																																																				
9	土地利用計画② 日本の土地利用計画制度																																																					
10	都市交通計画① 都市交通の問題と課題、機能、役割																																																					
11	都市交通計画② 街路網の計画、都市交通計画の手法																																																					
12	都市交通計画③ 地区交通計画の必要性、方法																																																					
13	公園・緑地・オープンスペースの計画① 公園・緑地・オープンスペースの機能																																																					
14	公園・緑地・オープンスペースの計画② 都市公園・緑地、公園の設計																																																					
15	総復習	小テスト2																																																				
16	期末試験																																																					
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士学科試験 ・ 1級・2級建築施工管理技士試験 																																																					
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点、期末点を総合して評価します。																																																					
【教科書】	「都市計画」第4版（森北出版）																																																					
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスで学ぶ独立住居と集合住宅の設計（彰国社） ・雑誌 新建築 新建築住宅特集 住宅建築 																																																					
【留意事項】	関連する教科としては、設計製図演習Ⅱ、設計製図演習Ⅲ（2年前期）、卒業設計（2年後期）などがあります。																																																					

【授業科目名】	3D-CAD演習 I (授業形態:演習)																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1 単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	2年次	【授業時間数】	45H (3H/週)																																
【授業担当者】	内海 貴裕[実務経験:建設会社にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	建設業界において多用されているBIMに対応したアーキキャドを用いて3Dパースなどの作成を習得する。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション アーキキャドで出来ること</td></tr> <tr><td>2</td><td>基本図形の描画 (直線、四角形、円、多角形)</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本図形の描画 (数値入力による描画、図形の加工)</td></tr> <tr><td>4</td><td>図面の作成 (平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工)</td></tr> <tr><td>5</td><td>プレゼンテーションボードの作成 (図面の着色、レイアウト)</td></tr> <tr><td>6</td><td>3Dモデルの作成 (基本操作、視点、注状体、錐状体)</td></tr> <tr><td>7</td><td>3Dモデルの作成 (回転体、3Dパス図形)</td></tr> <tr><td>8</td><td>3Dモデルの作成 (3Dモデルの編集と加工)</td></tr> <tr><td>9</td><td>3Dモデルの作成 (家具の作成、レンダリング、テクスチャ)</td></tr> <tr><td>10</td><td>3Dモデルの作成 (家具の作成、光源設定、パースの作成)</td></tr> <tr><td>11</td><td>3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)</td></tr> <tr><td>12</td><td>3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)</td></tr> <tr><td>13</td><td>3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)</td></tr> <tr><td>14</td><td>3Dモデルの応用 (ファイル取り出し、取込み)</td></tr> <tr><td>15</td><td>3Dモデルの応用 (レイアウト)</td></tr> </tbody> </table> <p>※期末試験 (ペーパーテスト) は無し</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション アーキキャドで出来ること	2	基本図形の描画 (直線、四角形、円、多角形)	3	基本図形の描画 (数値入力による描画、図形の加工)	4	図面の作成 (平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工)	5	プレゼンテーションボードの作成 (図面の着色、レイアウト)	6	3Dモデルの作成 (基本操作、視点、注状体、錐状体)	7	3Dモデルの作成 (回転体、3Dパス図形)	8	3Dモデルの作成 (3Dモデルの編集と加工)	9	3Dモデルの作成 (家具の作成、レンダリング、テクスチャ)	10	3Dモデルの作成 (家具の作成、光源設定、パースの作成)	11	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)	12	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)	13	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)	14	3Dモデルの応用 (ファイル取り出し、取込み)	15	3Dモデルの応用 (レイアウト)
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション アーキキャドで出来ること																																		
2	基本図形の描画 (直線、四角形、円、多角形)																																		
3	基本図形の描画 (数値入力による描画、図形の加工)																																		
4	図面の作成 (平面図の作成 基本操作の活用、編集と加工)																																		
5	プレゼンテーションボードの作成 (図面の着色、レイアウト)																																		
6	3Dモデルの作成 (基本操作、視点、注状体、錐状体)																																		
7	3Dモデルの作成 (回転体、3Dパス図形)																																		
8	3Dモデルの作成 (3Dモデルの編集と加工)																																		
9	3Dモデルの作成 (家具の作成、レンダリング、テクスチャ)																																		
10	3Dモデルの作成 (家具の作成、光源設定、パースの作成)																																		
11	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)																																		
12	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)																																		
13	3Dモデルの作成 (建築物・工作物の作成)																																		
14	3Dモデルの応用 (ファイル取り出し、取込み)																																		
15	3Dモデルの応用 (レイアウト)																																		
【資格との関連】	建築CAD検定 (3級・2級)																																		
【成績評価方法】	出席点、平常点、課題点を総合して評価します。課題未提出者は、評価の対象になりませんので注意してください。																																		
【教科書】	はじめての Archicad (GRAPHISOFT)																																		
【参考資料】																																			
【留意事項】	現在の実務業務において、お客様に提示する図面はほとんどがデジタル化されており、3D-CADやプレゼンソフトの習得は必須となってきています。また、実務の3D-CADはBIMに移行していきます。授業中に分からないことがあった場合はすぐに質問して確認してください。																																		

【授業科目名】	卒業研究Ⅰ（授業形態：演習）																																		
【教科目名】	指定科目外	【単位数】	1単位																																
【学科名】	建築環境学科	【コース】	・建築設計デザインコース																																
【学習時期】	前期																																		
【年次】	2年次	【授業時間数】	30H（2H/週）																																
【授業担当者】	赤城 真美江 [実務経験：建築設計事務所にて建築物のプレゼン] 松枝 俊之 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計] 古谷 友宏 [実務経験：建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	全教科の建築知識を基に、今日の社会生活環境の本質に対する問題提起とその解決法を表現するため、幅広く建築計画手法（調査・類似例の収集・事例研究・敷地選定・企画設計）を習得し、図面・模型・CGなどを用いてプレゼンする。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>社会問題に対する建築（土木）での解決法について オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策検討</td></tr> <tr><td>3</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策検討</td></tr> <tr><td>4</td><td>社会問題調査・事例研究・プレゼン準備</td></tr> <tr><td>5</td><td>中間発表</td></tr> <tr><td>6</td><td>社会問題調査・事例研究・解決策再検討</td></tr> <tr><td>7</td><td>社会問題調査・事例研究・具体案作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>社会問題調査・事例研究・具体案作成</td></tr> <tr><td>9</td><td>図面・模型作成・プレゼン準備</td></tr> <tr><td>10</td><td>中間発表</td></tr> <tr><td>11</td><td>解決策再検討、具体案再作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>図面・模型・CG作成①</td></tr> <tr><td>13</td><td>図面・模型・CG作成②</td></tr> <tr><td>14</td><td>図面・模型・CG作成③・プレゼン準備</td></tr> <tr><td>15</td><td>発表</td></tr> </tbody> </table> <p>※期末試験（ペーパーテスト）は無し</p>			回数	授業内容	1	社会問題に対する建築（土木）での解決法について オリエンテーション	2	社会問題調査・事例研究・解決策検討	3	社会問題調査・事例研究・解決策検討	4	社会問題調査・事例研究・プレゼン準備	5	中間発表	6	社会問題調査・事例研究・解決策再検討	7	社会問題調査・事例研究・具体案作成	8	社会問題調査・事例研究・具体案作成	9	図面・模型作成・プレゼン準備	10	中間発表	11	解決策再検討、具体案再作成	12	図面・模型・CG作成①	13	図面・模型・CG作成②	14	図面・模型・CG作成③・プレゼン準備	15	発表
回数	授業内容																																		
1	社会問題に対する建築（土木）での解決法について オリエンテーション																																		
2	社会問題調査・事例研究・解決策検討																																		
3	社会問題調査・事例研究・解決策検討																																		
4	社会問題調査・事例研究・プレゼン準備																																		
5	中間発表																																		
6	社会問題調査・事例研究・解決策再検討																																		
7	社会問題調査・事例研究・具体案作成																																		
8	社会問題調査・事例研究・具体案作成																																		
9	図面・模型作成・プレゼン準備																																		
10	中間発表																																		
11	解決策再検討、具体案再作成																																		
12	図面・模型・CG作成①																																		
13	図面・模型・CG作成②																																		
14	図面・模型・CG作成③・プレゼン準備																																		
15	発表																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一級・二級建築士学科試験 ・ 1級・2級建築施工管理技士試験 																																		
【成績評価方法】	中間発表会の内容、提出された課題の出来具合、授業態度などを加味して、総合的に評価します。																																		
【教科書】	講義に関しては、随時参考図書を指定する。個人作業に関しては、制作に必要なとなるすべての情報資料を各自が随時選択して使用する。																																		
【参考資料】	卒業研究作品集、地誌、新聞																																		
【留意事項】	中間発表の欠席や課題の未提出は採点の対象とならず、成績評価が出来ませんので、特に注意が必要です。																																		